

3.3mol/L 塩化カリウム溶液

作成日 2012 年 10 月 29 日

改訂日 2023 年 2 月 6 日

版 3

製品安全データシート

1.製品及び会社情報

製 品 名 : 3.3 mol/L 塩化カリウム溶液

会 社 名 : 東京硝子器械株式会社

担当部門 : 営業業務部

住 所 : 東京都文京区本駒込 1-7-16

電話番号 : 03-3252-8424

2.危険物有害性の要約

(GHS 分類)

物理化学的危険性 区分に該当しない/分類できない

健康有害性 急性毒(経口) 区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2B

環境有害性 水生環境有害性 短期(急性) 区分に該当しない

(上記に記載なき GHS 分類区分：該当しない/分類できない)

(GHS ラベル要素)

注意喚起語 警告

危険有害性情報 眼刺激

注意書き

安全対策 取扱い後はよく眼を洗うこと。

応急措置 眼に入った場合、水で数分注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当をうけること。

保管 容器を密栓して冷暗所に保管する。

3.3mol/L 塩化カリウム溶液

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:混合物

化学名	含有量(%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS 番号
塩化カリウム	24.6	1-228	7447-40-7
水	残り	—	7732-18-5

4.応急措置

吸入した場合	きれいな空気環境の場所に移動させ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合	水で洗い流す。
眼に入った場合	水で洗い流す。必要に応じて医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	多量の水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の手当てを受けること。

5.火災時の措置

適切な消火剤	この製品自体は不燃性である
使ってはならない消火剤	情報なし
特有な消化方法	情報なし
消火を行う者の保護	消化作業の際は必ず保護具を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	必要に応じて、保護眼鏡、ゴム手袋等を着用し、試薬が皮膚に付いたり、吸入しないよう注意し作業を行う。
環境に対する注意事項	漏出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないよう注意する。汚染された廃水が処理されずに環境へ排出しないよう注意する。
封じ込め、浄化の方法及び機材	ウェス、紙、乾燥砂、土、おがくず等に吸収させて、残りは水で洗い流す。

3.3mol/L 塩化カリウム溶液

7.取扱い及び保管上の注意

(取扱い)

技術的対策	出来るだけ皮膚などに付けないようにする。 必要に応じて局所排気装置を使用すること。
注意事項	取扱説明書に従って、適切に作業をすること。
安全取扱注意事項	皮膚および眼との接触を避ける。必要に応じて、個人用保護具を用 すること。

(保管)

適切な保管条件	直射日光を避け、容器を密閉にして冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8.暴露及び保護色措置

設備対策	蒸気又はヒュームやミストが発生する場合、局所排気装置を設 する。
------	-------------------------------------

管理濃度	設定されていない。
------	-----------

許容濃度	混合物としての情報はなし。
------	---------------

(保護具)

手の保護具	必要に応じて保護手袋を着用する。
眼の保護具	眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用すること。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて着用すること。

9.物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色
臭い	なし
融点/凝固点	データなし
沸点又は初蒸留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	中性

3.3mol/L 塩化カリウム溶液

動粘性	データなし
溶解度	水:混和する
n-オクタノール/水分配計数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	約 1.17g/ml
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10.安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常使用において安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	高温と直射日光
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解性物質	情報なし

11.有害性情報

急性毒性(経口)	LD50=3020mg/kg(ラット)
皮膚腐食性/皮膚刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	情報なし
誤えん有害性	情報なし

12.環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

3.3mol/L 塩化カリウム溶液

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	少量の場合は水で希釈し、下水に流す。 廃棄は、地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。
汚染容器及び包装	容器は、水で洗浄し、通常のプラスチックゴミとして自治体の基準に従った処分する。

14.輸送上の注意

国内規制

陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合には、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。必要に応じて、荷送り人は運送業者に運搬注意書などを交付すること。
海上輸送	船舶安全法に従うこと。
航空輸送	航空法に定めるところに従うこと。

国際規制 航空法は IATA 及び海上輸送は IMDG の規則に従う。

国連分類・国連番号

海上輸送(IMDG)

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連危険物分類	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない

航空輸送(IATA)

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連危険物分類	該当しない
容器等級	該当しない

輸送の特定の安全対策及び条約 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れの無いことを確かめ、落下、転倒、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

3.3mol/L 塩化カリウム溶液

15.摘要法令

化学物質管理促進法 (PRTR)	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない

16.その他の情報

引用文献

1. NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構 HP)
2. 職場のあんぜんサイト (厚労省 HP)
3. JIS Z7252-2019 及び Z7253-2019
4. 化学大辞典 共立出版社

この安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものでは有りませんので、取扱いには充分注意してください。又、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。尚、注意事項は通常の実用を前提としていたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。